

22. 令和2年度大分県高等学校新人ボクシング競技大会実施要項

- 1 主催 大分高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和 2年 10月 31日 (土) 9:30 ~ スポーツエントリズチェック、終了後、健診・計量
10:30 ~ 開始式
10:45 ~ シャドウボクシングの部
12:30 ~ 競技開始
11月 1日 (日) 9:30 ~ 健診・計量
11:00 ~ 競技開始
11月 2日 (月) 9:30 ~ 健診・計量
11:00 ~ 競技開始
(競技終了後に 閉会式)
- 3 場 所 県立鶴崎工業高等学校多目的競技場ボクシング道場
- 4 競技規則 令和2年度(一社)日本ボクシング連盟高等学校競技規則による。
- 5 競技種目 (1)男子はピン級からミドル級までの8階級
(2)女子はピン級からミドル級までの9階級
- 6 競技方法 (1) 競技の部
ア.各階級トーナメント方式とし、3・4位決定戦は行わない。
イ.1回目の検診・計量で失格した者は、順位に入れれない。その際は下位のランキング順位を繰り上げる。
(2) シャドウの部
ア.シャドウボクシングを行い、「スピード」・「スタミナ」・「正確さ」で勝敗を決定する。
イ.トーナメント方式で行い、2分1ラウンドで勝者を決定する。
- 7 参加資格 (1)「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
(2)令和2年度日本ボクシング連盟及び大分県ボクシング連盟に登録済みの者。
(3)シャドウの部は1年生(練習開始後1年未満の者)とする。
- 8 参加制限 (1) 競技の部 ア.男子はピン級からミドルの8階級とする。
イ.女子はピン級からミドルの9階級とする。
ウ.各学校・各階級とも、2名以内のエントリーとする。
(2) シャドウの部 ア.1年生ならば各学校何名でも出場可能。
- 9 参加申込 (1) 締切日 令和 2年 10月 2日 (金) 必着
(2) 方法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。
ア. シャドウの部・競技の部(男子)(女子)の各様式で作成し、各1部印刷・捺印して、下記に郵送する。
イ. 承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名:競技/校名/監督名)
***大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**
(3) 宛 先 〒874-0133 大分市葛木509 県立鶴崎工業高等学校内
専門委員長 飯田 育夫 宛
メールアドレス iida-ikuo@oen.ed.jp < データ受付期間:10月2日(金)12:00必着>
- 10 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人、加盟校6000円・非加盟校10000円。大会当日の受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 「競技の部」のみ、各階級1位に九州新人大会の出場権を与える。
- 12 専門委員会 令和 2年 10月 17日(土)13時~鶴崎工業高等学校ボクシング場
- 13 連絡事項 (1)健診・計量10分前にスポーツエントリズチェック・点呼を行う、遅刻は一切認めない。
(2)参加選手は、総合検診記録、CT証明書、選手手帳、健康保険証、試合用具を持参のこと。
(3)競技出場のため検診医療費を、監督会議時に選手1名につき、2,000円を納入する。
(4)8名以上の参加申込のある階級については、予備日(10/25(日))に予選を行う。
(5)組み合わせ抽選は、専門委員会で開催選手権大会優勝者、準優勝者を同一階級での出場時のみシードする方法に基づいて行う。
(6)参加申込後の階級変更は認めない。ただし、参加の取り消しはその限りではない。
(7)セカンドについては、1名のチーフまたはサブセカンドは有資格者とする。アシスタントセカンドはその限りではない。
(8)競技者以外のマスク着用を認める。
(9)競技者のアップはシャドー等のみとし、ミットやマスボクシングは厳禁。
(10)セカンドは2名以内とし、それぞれ使い捨ての手袋を着用する。
(11)10月1日(木)から別紙健康観察について実施し、エントリーズチェックの際確認をうける。
(12)密集を避けるため階級により時間を区切ったセッションを実施する。組合せ抽選後に決定版をHP(高体連・大分県ボクシング連盟)にアップする。
(13)保護者、一般観覧者は入場できない。無観客とする。
(14)選手、役員は大会初日に体調管理表、2週間の行動履歴表を提出する。
- 14 感染症等の対策 (1)感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
(2)競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。
(3)今大会は、無観客(部員のみ)で開催する。

感染症等の対策に関する留意事項について

ボクシング競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 ボクシング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・役員、審判、その他の部員は、常時マスクを着用する。（息苦しさを感じた時は外す）
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・学校毎に更衣する配置を決める（配置はトレーニングルームにて掲示する）
- ・応援は原則禁止とする。（競技中のタイムは各学校1名が指示する）。
- ・部員同士の大きな声の会話も禁止する。
- ・ウォーミングアップは、シャドーボクシングのみとする。ミット打ち、マスボクシングは禁止する。
- ・セカンドは、マスクとゴム手袋を着用する。
- ・各階級によるセッションの実施については、時間による制限を行う

- ・保護者、一般観覧者の入場は禁止する。無観客とする。
- ・開閉会式参加者は、役員、審判、各学校の代表選手1名、もしくは2名とする。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、換気（30分に1回）を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限するので注意すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・応援は原則禁止とする。（競技中のタイムは各学校1名が指示する）。
- ・部員同士の大きな声の会話も禁止する。
- ・更衣は、密集・密接にならないように、十分なスペースを確保するために着替える人数を制限する。
学校毎に更衣する配置を決める（配置はトレーニングルームにて掲示する）
- ・ウォーミングアップは、シャドーボクシングのみとする。ミット打ち、マスボクシングは禁止する。
- ・セカンドは、マスクとゴム手袋を着用する。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の人数を減らすために、試合の順序等により、会場への入場時間を定めているので注意すること。試合終了後は、速やかに次のチームと入れ替わること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・各階級によるセッションの実施については、時間による制限を行う。
- ・開閉会式参加者は、役員、審判、各学校の代表選手1名、もしくは2名とする。
- ・保護者、一般観覧者の入場は禁止する。無観客とする。

多目的競技場ボクシング場（会場レイアウト）

